



こどもまんなか 防災キッズタウン

5月10日(日)に町中央公民館において、こどもたちを対象に『こどもまんなか防災キッズタウン』が開催され、こども約100名とご家族総勢200人以上の参加がありました。

当日は、おおさきこどもまんなかフェス実行委員会のもと、鹿児島地方気象台、九州電力、大隅曾於地区消防組合、社会福祉協議会、つなぎば、高校生クラブ、町内子ども食堂の協力があり、地震や津波が起きた時に、どう動くか?などの防災についての学びや体験活動、炊き出し訓練がおこなわれました。

また、併せて「人形劇団クラルテ(大阪市)」による人形劇、シール交換会、お菓子釣りなどがおこなわれ会場全体がこどもたちの笑顔であふれました。

なお、今回のイベントについては、そのほとんどを大崎町在住の方から今年で4回目となる寄付で運営しました。



防犯グッズ贈呈

5月7日(木)、教育長室において金融機関防犯協会より「いかのおすし」クリアファイル、志布志地区防犯協会より「いかのおすし」色鉛筆セットがそれぞれ贈呈されました。

これは、町内の新一年生が安全に登下校するために、「いかのおすし」を覚えてもらい楽しい学校生活を送ってほしいと各協会から贈呈されたものです。

穂園教育長は「それぞれの学校や家庭で活用し、今後も啓発・見守り活動をおこなっていきます」と感謝を述べました。



えんがわカーリングの体験

5月1日(金)大崎町民生委員児童委員協議会の定例会終了後、スポーツレクリエーションとして、新しいスポーツ「えんがわカーリング」を体験いたしました。講師として、持留校区分館長の栞山章二氏にお越しいただき、ルールなどについて講習を受け、1チーム3名に分かれて競技を体験しました。ルールはカーリング同様、円の中心に最も近いところにストーンが残るとポイントとなるもので、一人2投を交互に投げ合いました。カーリングでいう「ストーン」は、タイヤのついた手作りのもので、なかなか思い通りに進んでくれないため、笑いの絶えない和気あいあいとした時間を過ごすことができました。